

# 借金はどれくらいあるの？

## 借金残高は2兆2,071億円！

平成17年度決算の借金（市債）の残高は、一般会計、特別会計、企業会計を合わせると、2兆2,071億円。近年は、大型施設建設などにより市債の発行額が大幅に増加していました。

※一般会計：福祉や教育、道路整備などを行う市の基本となる会計  
 特別会計：国民健康保険や介護保険など、一般会計と分ける必要がある特定の会計  
 企業会計：地下鉄や病院など、民間企業と同じように利用料金で運営する会計

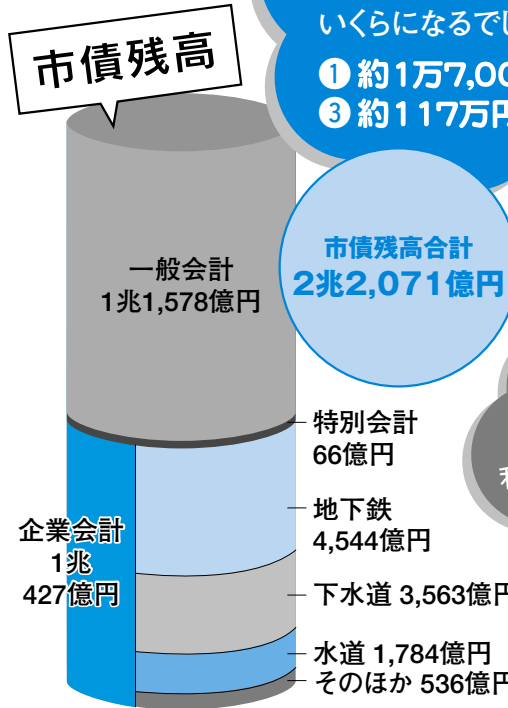
### 市債は、使う人みんなで費用を分担する仕組み

市債は、道路や公園など、長い年月使用する施設を建設する場合などに発行しています。そのような施設の費用は、建設したときの市民だけがすべて負担するのではなく、「分割払い」にして、建設後に利用する市民にも公平に負担してもらいます。

## 財政クイズ Q.2

市債の残高を、単純に札幌市民1人当たりで換算するといくらになるでしょうか？

- ① 約1万7,000円 ② 約17万円  
 ③ 約117万円 ④ 約1,170万円



# 変えなきゃ お金の使い方！集め方！

## 事業の効率化などで、経費を削減

このような厳しい財政状況の中で、市民の皆さんが本当に必要とするサービスを提供し続けるために、市役所の仕事の仕方を変えていく必要があります。

市では、平成16年12月に「財政構造改革プラン」という計画を立てて、お金の使い方と集め方の両方を見直しています。

### お金の使い方、集め方の見直し

- 市役所が自ら努力して節約する
  - ・職員数の削減
  - ・光熱費の節減
- 市役所の仕事や利用者の負担を見直す
  - ・民間にできることは民間に任せる
  - ・敬老パスなどの利用者負担額の見直し
- 計画的に公共事業を行う
  - ・施設の建て替え時期の見直し
  - ・公共事業の削減
- 使わない土地を売る
- もっとお金が入るようにする
  - ・税や保険料の収入率の向上
  - ・経済の活性化による税収入の増加



### 借金も減少へ

市では、計画的に施設の整備を行ってきたので、生活に必要な道路や下水道などの整備はほぼ終わっています。現在、一般会計では市債の発行額は返済額より少なくなっており、借金の残高は16年度をピークに減ってきています。

